

誰もが、誰かの、
たからもの。

どんなに時代が変わっても、受け継いでいきたい
それは、人のつながり、あたたかさ

さりげないけど、ほっとかない
互いの顔が見える、人間味あふれる関わりが心地いい

今を見つめ、未来に想いをさせる
そんな心を、ときに優しくつつみ、ときにそっと背中を押す

大切に育んできた“つながる力”は、
自分のサイズで、一生懸命生きる人を応援してくれる
未来への原動力

人が人のたからもの
誰もが誰かの応援団

いいけん、
島根県

いいけん 島根県



http://www.isikawa.jp/kenkou/index.html



！ めもひと目でわかる！ がん教育の進め方

なぜ、
がん教育？

がんは、日本において死因の第1位であり、死亡総数の約3割を占めています。また、生涯のうち、国民の2人に1人はがんにかかると言われていたことから、がんは重要な健康課題であり、健康に関する国民の基礎的教養として身に付けておくべきものとなっています。

【参考例】

	流れ	主な内容 等	参考
Step1	職員会議等	・学校保健計画に位置付け、教職員の共通理解のもとに進める。	Q&A集 P18～
Step2	配慮が必要な児童生徒への対応	・担任からの申し送りや保健調査票等で可能な限り把握する。	手引 P8～ Q&A集 P6～
Step3	保護者への学習内容の通知	・文書にて事前に指導計画を伝え、理解を得る。	
Step4	事前アンケートの実施	・がんに関する簡単な意識調査を行う。	手引 P39
Step5	学習 ・保健体育科 ・特別活動(学級活動、HR活動) ・道徳科 ・総合的な学習(探究)の時間 ・特別活動(学校行事) など	・学習指導要領において、中学校、高等学校の保健体育科で、「がんについても取り扱うもの」と明記されている。 ・保健体育科だけでなく、特別活動や道徳科等も含め、学校教育活動全体を通じて行われる健康教育に位置付け、計画的・組織的に実施することが大切である。 ・医療従事者やがん経験者等の外部講師の活用が効果的である。	手引 P17～ Q&A集 P10～ 文科省教材(手引 P45～)
Step6	事後アンケートの実施	・事前アンケートと同じ内容のアンケートを実施し、児童生徒の変容を把握する。	手引 P39

がん教育は、がんを他の疾病等と区別して特別に扱うことが目的ではなく、がんを扱うことを通じて、他の様々な疾病の予防や望ましい生活習慣の確立等も含めた健康教育そのものの充実を図ることが大切です。

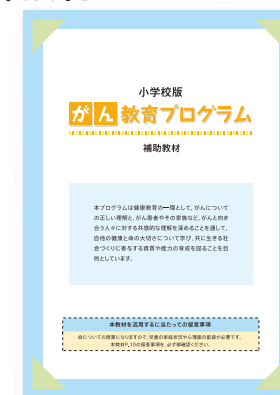
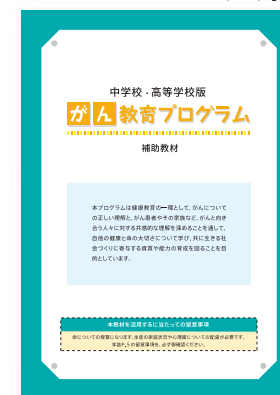
手引



Q&A集



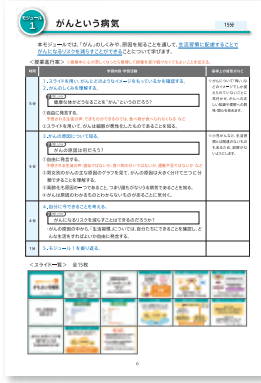
文科省教材



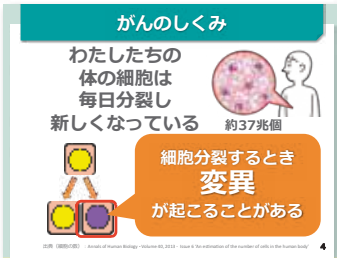
参考資料

文科省のHPでダウンロード可能
内容は「手引」でも紹介

授業に使える!



スライド



正しく

がんの情報を知りたい!

『がん情報サービス』
国立がん研究センター



<https://ganjoho.jp/public/index.html>

島根県のがん情報



『しまねのがん対策』
島根県がん対策推進室



<https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/kenko/gan/gan1/gankyouiku/usuishinjigyuu.html>

小学校版/中学校・高等学校版
がん教育プログラム補助教材
(文部科学省)



https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1385781.htm



保護者通知文(例)



事前事後アンケート(例)



配慮の例



- がん教育の内容や方法、実施時期を工夫する。
- 「がん教育を行うこと」や「心配があれば、いつでも相談できること」をあらかじめ保護者にたよりや通知文などで周知する。
*「通知文例」参照
- 本人に限定されるような内容に特化せず、事例を一般化するなどの工夫をする。
- 授業の冒頭で「悲しくなったり、聞いているのがつらくなったりした場合は、先生に伝えてください」等の言葉がけをする。
- 養護教諭等とともに指導をするなど複数体制し、授業中や授業前後の観察をする。など

授業以外でも...

保健室から発信

～健康診断の大切さを意識させる掲示物・ほけんだより～



図書室との連携



学習

目標1 がんについて正しく理解できるようにする

〈高等学校〉保健体育科 科目保健



「手引」や「Q&A集」
にモデル校や実践校等
の取組を紹介

喫煙防止教室で実施



薬剤師による講演会

〈中学校〉保健体育科 保健分野



養護教諭とのTT授業

外部講師の活用

- がんに関する科学的根拠に基づいた理解を
ねらいとした場合⇒ 医療従事者による指導
- 健康や命の大切さをねらいとした場合
⇒ がん患者やがん経験者による指導



島根県
外部講師リストは
毎年度当初、
学校に届きます!



目標2 健康と命の大切さについて主体的に考え、行動できる態度を育成する

人権集会で実施

NPO法人がんサポートかごしま
三好綾さんによる『いのちの授業』



一緒に活動されていたかみづるさんが、亡くなる直前までやりたいことに挑戦されたお話は、生徒の心に響きました。



道徳科で実施

外部講師(がん経験者)との
TT授業



人権集会での生徒の感想

今日の講演会で、私たちがいま普通に生活できていることは、すごく幸せなんだなと思いました。かみづるさんの短冊のお願いの「もう少し時間がほしい」という言葉がとくに印象に残っています。やりたいことを一つずつ叶えられたかみづるさんは、とても素敵で、強くて、かっこいいです。消えちゃいたいというふうに思ってしまったとしても、かみづるさんの「あなたはあなたのままで金メダル」という言葉を思い出して、頑張りたいです。また、死に関連する言葉は使わないようにし、誰かに助けを求められたら、その人にしっかり寄り添える人になりたいです。